



平成27年3月18日
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）と
ラモン・パルド・ゲラ・キューバ全国防災参謀本部長との会談



本日18日午前10時30分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、ラモン・パルド・ゲラ・キューバ全国防災参謀本部長と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

山谷大臣から、パルド本部長が第2回会議に引き続き、第3回国連防災世界会議へ参加されることを歓迎し、また、東日本大震災の犠牲者を追悼するクラシックコンサートをハバナにおいて催されたことに謝意を表すとの発言があった。

パルド本部長からは、今会議における日本の優しさ、おもてなしの心に感動したとの発言があり、また会議の管理・運営も素晴らしいとの発言があった。また、キューバは日本との友好関係を非常に重視しており、日本の慶長遣欧使節団である支倉常長の記念碑があることを紹介した。

2. 防災について

パルド本部長から、防災に関して日本の優れた技術を学びたいと思っているとの発言があった。また、日本にキューバの防災の努力を伝えたい、市民レベルでの防災への協力、またその他いろいろな分野での協力を密にしていきたいとの発言があった。

山谷大臣からは、キューバは避難訓練や危険な土地に人が住まないことを徹底しており、災害による人的被害が少ないと聞いているとの発言があった。

また、「より良い復興」を推進するため、国際復興プラットフォーム（IRP）の活動に触れ、協力してもらいたいとの発言があった。